

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	Y.K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4	派遣国	メキシコ合衆国
派遣大学	アメリカス・プエブラ大学		
期間	2022年8月8日～2023年5月19日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	×	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (4万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (1) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	30,000円	
学用品購入費	0円	基本的にオンライン教材だったため
交通費	3,000円	休日のUber移動
交際費	10,000円	1日旅行5,000円程度、その他フィエスタ等
その他	5,000円	習い事の月謝
合計	40,800円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

大学が位置する Cholula の 14 ストリートは基本的には治安が良いですが、フィエスタの帰り等、深夜に外を歩く場合は1人では歩いてはいけません。Cholula 内でも盗難事件や暴行事件が全くないわけではないので、注意して歩く必要があります。特に女性の場合は1人でUberに乗って危険な目に合うケースがあるので、1人で移動する場合は自身の現在地をルームメイトなどとシェアしてください。メキシコ人の学生たちは子供のころから自

分の身を守るための教育を受けてきているので、メキシコ人の友人に日々の危機管理について教えてもらうことがおすすめです。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(114,380) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (プエブラ州/サンアンドレス・ Cholula)

プエブラ州はメキシコの中央エリアにある都市で、メキシコシティからバスで 2 時間ほどの場所に位置しています。州都のプエブラは UDLAP から車で 20 分ほどの距離にあり、街全体が世界遺産に登録されている歴史ある街です。プエブラにはショッピングエリアや歴史地区、メキシコのプロレス「ルチャ・リブレ」の会場もあり、観光地としても人気です。UDLAP があるサンアンドレス・ Cholula は都会的なプエブラとは雰囲気が異なり、大きな建物もないこじんまり・ゆったりとした町です。Cholula は、メキシコの際立って美しい町である 132 個の Pueblo Mágico(魔法の町)の 1 つとして登録されていて、植民地時代以前のピラミッドや植民地時代の教会を見ることが出来ます。ピラミッドの上に建てられた黄色の教会がこの町のトレードマークです。もう一つのトレードマークに、Popocatepetl 火山があります。富士山によく似た活火山で、常に噴煙を出し続けている山です。Cholula の中心地であるピラミッドまでは、大学からは大通りをまっすぐ進んで徒歩 20 分ほどで着きます。この大通りにはおしゃれなカフェやレストラン、クラブが並んでいます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	アメリカス・プエブラ大学	所在地	Ex hacienda Sta. Catarina Martir, 72810, San Andrés Cholula, Puebla, México
最寄り空港	メキシコシティ国際空港	空港からの距離	約 100km (バスで 2 時間)
空港⇄大学	(空港から大学最寄りのバスターミナル Paseo Destino までバス移動。Paseo Destino からは Uber など で 最 終 目 的 地 まで 移 動) *移動手段		
学生数	約 9,500	留学生数	約 500
学部	芸術・人類学部 (Artes y Humanidades) 社会科学部 (Ciencias sociales) 科学部 (Ciencias) エンジニアリング学部 (Ingeniería) 商・経済学部 (Negocios y economía) *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	社会科学部・国際関係学科(Relaciones Internacionales) *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	10:00-11:15 授業	8:30-9:45 授業	10:00-11:15 授業	8:30-9:45 授業	授業なし
午後	4:00-5:15 授業	1:30-2:45 スポーツクラス	4:00-5:15 授業	1:30-2:45 スポーツクラス	授業なし

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	8:30-9:45 授業	授業なし	8:30-9:45 授業	授業なし	授業なし
午後	1:00-2:15 授業	習い事	1:00-2:15 授業	習い事	授業なし
	17:30-18:45 授業		17:30-18:45 授業		

3. 履修内容

科目	Lengua y Comunicación		
履修期間	秋学期(8月-12月)	単位数	6
授業内容／形態	B2-C1 レベルを目指す、外国人学生向けのスペイン語の語学の授業。 ライティングやリーディング、プレゼンテーションがメインの対面形式。		
成績	9.5 (10 点満点)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Cultura mexicana		
履修期間	秋学期(8月-12月)	単位数	6
授業内容／形態	B1-B2 レベルを目指す、外国人向けのスペイン語の語学の授業。 スピーキング、メキシコの歴史理解がメインの対面形式。		
成績	9.7 (10 点満点)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Comunicación y Globalización		
履修期間	秋学期(8月-12月)	単位数	6
授業内容／形態	英語で行われる国際関係学科の授業。 グローバリゼーションとメディアの関係を分析する。 講義と学生による発表を軸に進める対面授業。		
成績	10.0 (10 点満点)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Manifestaciones culturales del mundo hispano		
履修期間	春学期(1月-5月)	単位数	6
授業内容／形態	C1レベルを目指す、外国人向けのスペイン語の語学の授業。 スペイン語圏の文化や社会を題材にした、講義・プレゼンテーション中心の対面形式。		
成績	9.4 (10点満点)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Política exterior de México		
履修期間	春学期(1月-5月)	単位数	6
授業内容／形態	スペイン語で行われるメキシコの外交に関する国際関係学科の授業。 講義中心の対面形式。		
成績	9.6 (10点満点)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	América latina contemporánea		
履修期間	春学期(1月-5月)	単位数	6
授業内容／形態	英語で行われる、貧困とセキュリティを切り口にラテンアメリカ社会について分析する授業。 講義と学生による発表を軸にした対面形式。		
成績	8.9 (10点満点)		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	Y.K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	4	派遣国	メキシコ合衆国
派遣大学	アメリカス・プエブラ大学		
期 間	2022年8月8日～ 2023年5月19日		
プログラム	交換留学		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Lengua y Comunicación
講義内容	外国人学生向けのスペイン語の語学の授業。 ライティングやリーディング、プレゼンテーションがメインの対面形式でした。語学の授業ですが文法の勉強はほとんどなく、コンテンツ重視でした。
科目	Cultura mexicana
講義内容	B1-B2 レベルを目指す、外国人向けのスペイン語の語学の授業。 スピーキング、メキシコの歴史理解がメインの対面形式。
科目	Comunicación y Globalización
講義内容	英語で行われる国際関係学科の授業。 グローバリゼーションとメディアの関係を分析する、講義と学生による発表を軸に進める対面授業。
科目	Manifestaciones culturales del mundo hispano
講義内容	C1 レベルを目指す、外国人向けのスペイン語の語学の授業。 スペイン語圏の文化や社会を題材にした、講義・プレゼンテーション中心の対面形式。
科目	Política exterior de México
講義内容	スペイン語で行われるメキシコの外交に関する国際関係学科の授業。 講義中心の対面形式。
科目	América latina contemporánea
講義内容	英語で行われる、貧困とセキュリティを切り口にラテンアメリカ社会について分析する授業。講義と学生による発表を軸にした対面形式。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

留学を通しての一番大きな学びは、自身の価値観に自信を持てたことです。留学に関する話題に「価値観が変わる」というものをよく耳にしますが、実際その通りで私も価値観が変わったと感じています。ただ、180度ガラッと価値観が変わったというよりは、これまで私が育んできた価値観に自信を与えてくれて、新しいものを取り入れながらよりそれを磨き上げることが出来たという変化だったと感じています。

私が留学前に抱いていた海外留学のイメージは、日本人は自己主張が弱い傾向にあるためそれを直さなければ海外ではやっていけない、という一般的に良く言及されるようなイメージだったため、舐められないよう強く振舞わなければいけないと考えすぎていました。しかしメキシコに着いて色々な人と接していく中で、私は「海外」のイメージを画一化していて勝手に身構えてしまっていたことに気が付き反省しました。というのは、メキシコで関わった人は自己主張をしっかりする面もありつつも、人に譲ったり自身のことを差し置いて人を喜ばせたりすることを大切にしている人が多く、渡航前に持っていた「海外」の像とは異なっていたからです。もちろん時間感覚や人との距離、交通マナーや食生活など価値観が大きく異なる部分も多いですが、「人に親切にする思いやり」や「オブラートに包んで伝える」という部分で親近感を覚えることがあったり、尊敬したりすることが多くありました。渡航前には私の持つ所謂「日本人らしさ」は海外では認められないのではないかと考えていましたが、実際にメキシコに来ると肯定的に捉えてもらえることが多く、自分自身を必ずしも「海外で生きる日本人」の型にはめなくても自分らしく生きていけるという自信を貰うことが出来ました。

とはいえ、もちろん様々な経験をする中で「日本人らしさ」の弱みを感じる場面はあり、議論の場やビジネスの場ではグローバルな舞台に必要なスキルを身に付けて戦っていかなければいけないと学ぶことも出来ましたが、それと同時に私自身が持つ価値観を卑下することなく、誇りをもって多様な人々と接していく経験をする事が出来ました。このようにコンプレックス無く前向きなアイデンティティを持つことが出来たのは、価値観的に相性の良いメキシコで価値観をへし折られることなく初めての海外生活を経験できたからだと考えています。今後グローバルな社会で日本人として生きていく中で自身の価値観を否定される場面に直面することはたくさんあると思いますが、この留学で得た自身の価値観を否定させない自信を忘れずに適応・進化していくという、私が目指すべき社会人像を確立することが出来ました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後は国際教養学部を卒業後学業はひとまず終了し、日本企業で社会人経験を積む予定です。グローバルな企業・そして中南米とのビジネスチャンスがある仕事に就く予定の為、留学経験を通して確立した目指すべきグローバル人材の在り方を体現していきたいです。特に私は、日本が積み上げてきた技術やノウハウを生かして地球規模課題の解決に貢献することを今後の人生の目標に掲げているので、留学で得た語学力はもちろん、地球規模課題について海外でも学んだ経験が、情報収集の面でも分析の面でも活かすことが出来ると考えています。特に先進国ではなく新興国の視点で新興国の同世代たちと環境問題への意識や貧困・暴力について学んだことで新興国の社会観を経験を通して学ぶことが出来たので、この視点を持って地球規模課題の解決に関わっていきます。

また、海外で外国人として 1 人で暮らす楽しさを知ることが出来たことも重要でした。このおかげで今後も海外駐在の機会や出張の機会があったら迷わず自分から手を挙げる事が出来そうですし、日本で暮らす外国人の方や旅行者の苦労を想像することも以前よりは容易になりました。外国人として暮らした経験を糧に、さらにフットワーク軽く、そして日本で外国人として暮らす人に優しい人間になっていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を希望されている方の中には、不安の方が大きい方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。私は渡航前は語学力にも生活力にも全く自信がなく、メキシコが好きだからメキシコで暮らしたい勉強したいというモチベーションだけで渡航を決めました。ただ振り返ってみると、実際に渡航を決めてしまえば意外と自分一人で何でもできるというのが正直なところなので、私の不安を解決してくれた 2 つのポイントを紹介します。

まずは、留学先大学の SNS をチェックしたり留学生のグループチャットに入ったりすることです。実際に留学するかどうか決めていないという段階の方は、学校の SNS を見れば雰囲気合いそうかイメージできますし、関連で大学周辺の情報まで入ってくるようになり留学先選びにも役立ちます。すでに留学を決心した人は、グループチャットに入れてもらうことで渡航手続きの情報やどこ出身の学生が多いかなどを確認出来て有益です。

もう一点は、当たり前のことですが渡航先の歴史や食文化、国民性は事前に学んでおいて、カルチャーショックを受け止められるような心構えをすることです。私は様々なカルチャーショックを想定して、非常につらい状況を覚悟して渡航したためカルチャーショックや生活水準の違いに啞然とする程のショックは受けずに済みました。文化の面を勉強していくことは、外国人として海外で暮らす時の最低限のマナーだと思っています。一部の留学生にメキシコの歴史や文化に関心がない人たちがいましたが、現地の人にも他の外国人にももちろん私にも不快感を与えていたので、渡航先へのリスペクトという意味でも自信を守るという意味でも文化面を簡単にでも学んでいくことは不可欠だと思います。